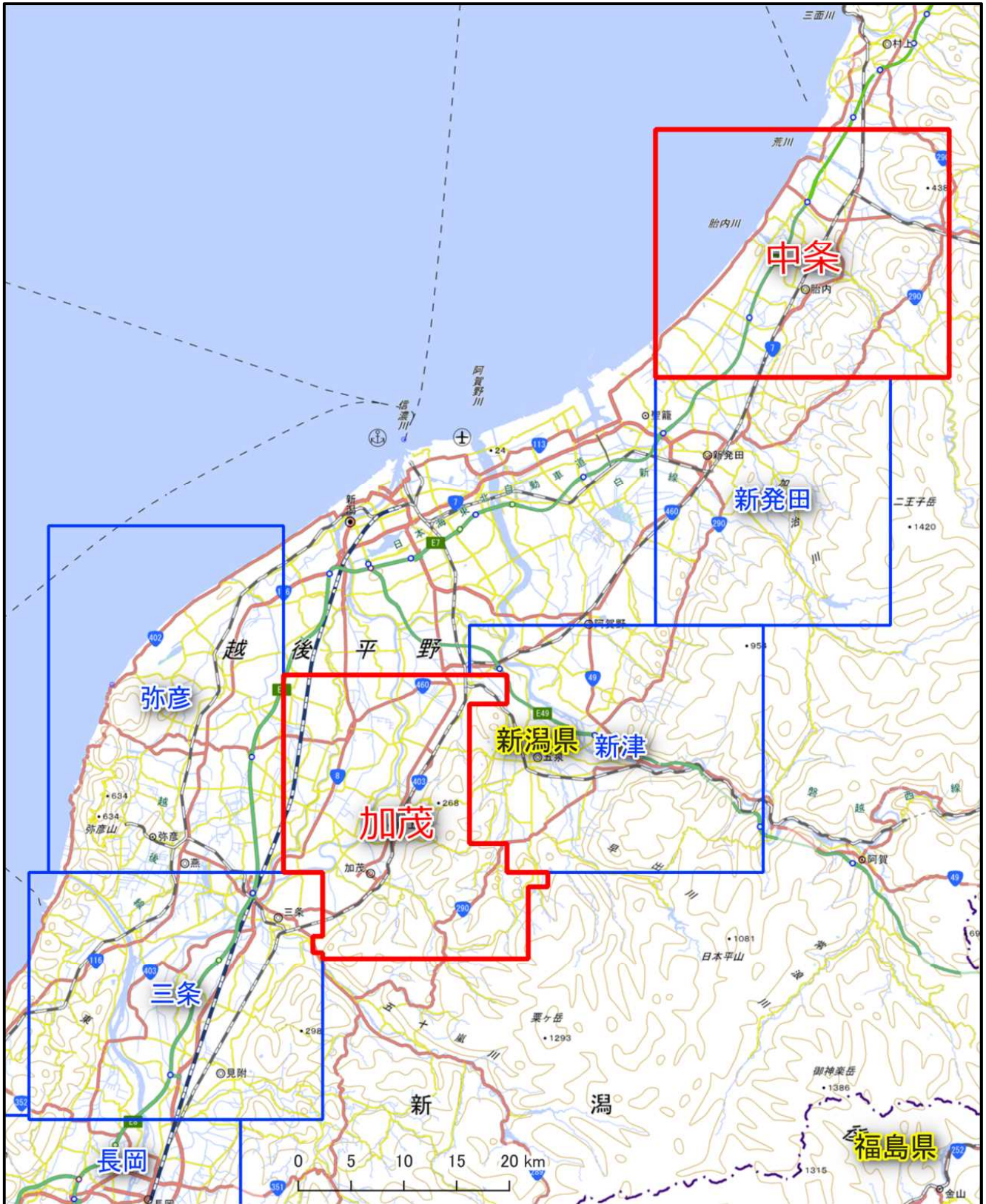


位置図

1:25,000 活断層図 櫛形山脈断層帯とその周辺 「中条」

1:25,000 活断層図 吉野屋断層とその周辺 「加茂」

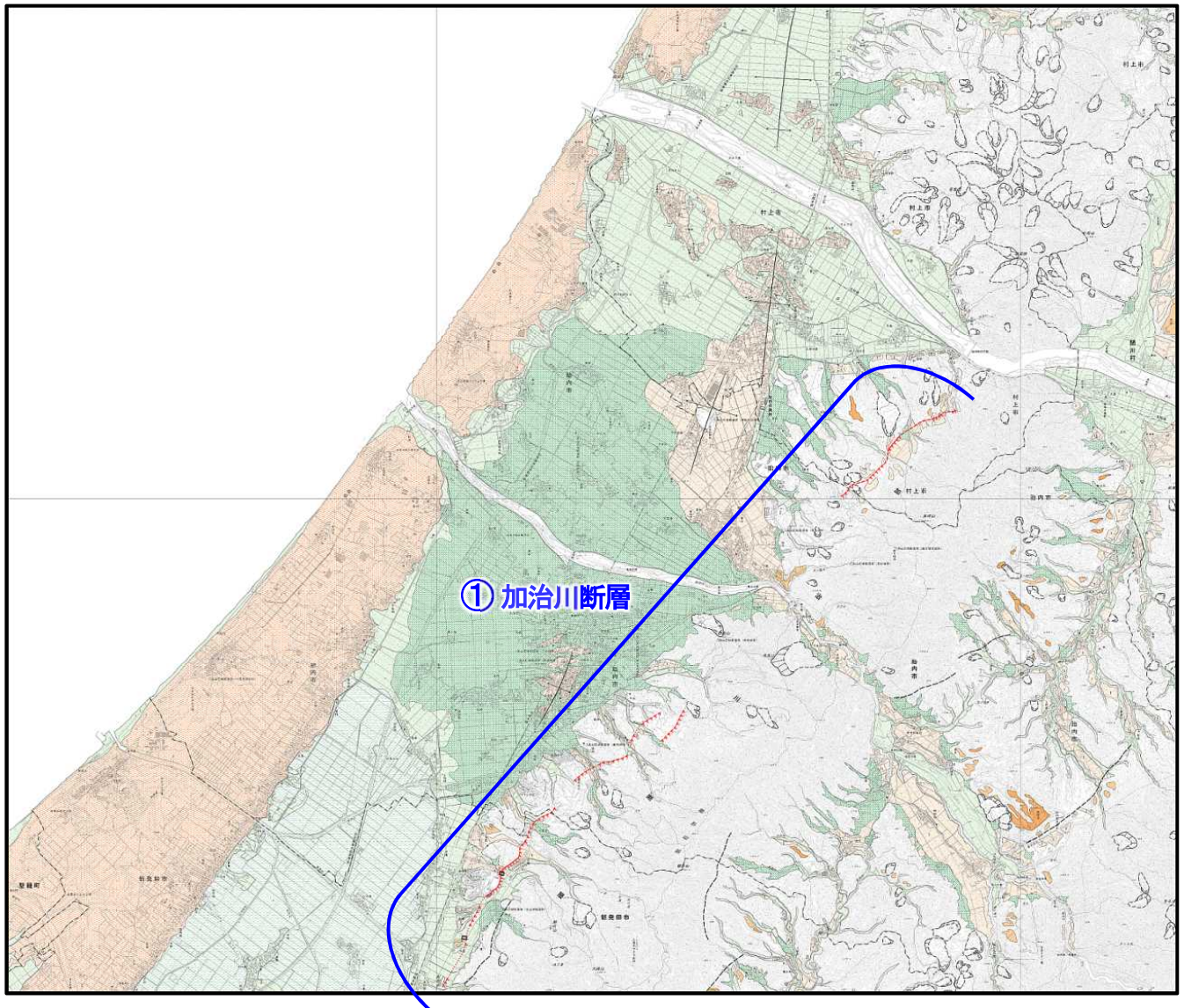


公開図郭

整備済図郭

概要

1. 1:25,000 活断層図 「中条」



2. 今回の調査で得られたこと

「中条」の図には、加治川断層約 15km と、その他推定活断層等を表示しています。

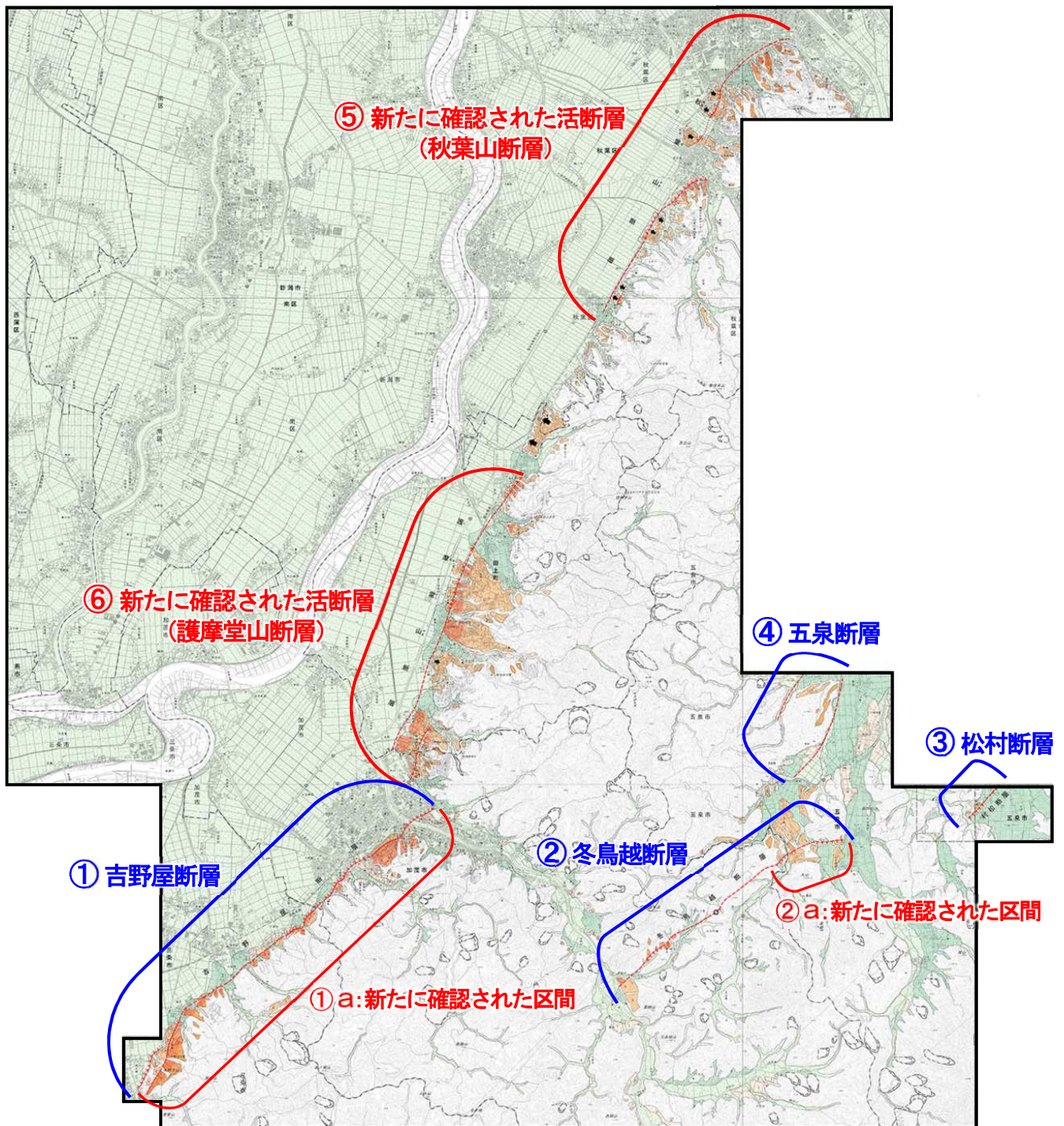
表示した活断層は、以下のとおりです。

番号	断層名	断層について
①	加治川断層	村上市花立の南から新発田市の船岡山まで、北東-南西方向に延びる、図内の長さ約 15km の活断層です。 北西側隆起（東南側落ち）の縦ずれ*変位を伴い、新発田市金山から同市の船岡山付近までは、東側に推定活断層が並走しています。

*印は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図 「加茂」



2. 今回の調査で得られたこと

「加茂」の図には、吉野屋断層約8km、冬鳥越断層約5km、村松断層約1km、五泉断層約2kmと、新たに確認された活断層（秋葉山断層）約6km、新たに確認された活断層（護摩堂山断層）約6kmを表示しています。

表示した活断層は、以下のとおりです。

番号	断層名	断層について
①	よしのや 吉野屋断層	<p>加茂市神明町<small>しんめいちよう</small>から三条市東大崎<small>ひがしおおさき</small>（図郭西端）まで、北東－南西方向に延びる、図内の長さ約8kmの活断層で、西側に隣接する「三条」の図の見附市<small>こぐりやままち</small>小栗山町付近まで続いています。</p> <p>本図の区間（図①a）は今回の調査で新たに確認されました。吉野屋断層の南東側に分布する上位・中位・下位段丘面上に、南東側隆起の縦ずれ*変位と活撓曲*がほぼ連続的に認められます。</p>
②	ふゆとりごえ 冬鳥越断層	<p>五泉市上大蒲原<small>かみおおかんぼら</small>から加茂市黒水付近まで、北東－南西方向に延びる、長さ約5kmの活断層で、一部に北西側隆起の縦ずれ*変位を伴っています。</p> <p>今回の調査で、従来知られていた活断層の北東延長部にあたる五泉市上大蒲原<small>かみおおかんぼら</small>から同市の丸山<small>まるやま</small>の北西までの約1kmの区間（図中②a）に、新たに活断層が確認されました。この区間では、上位・中位・下位段丘面上に北西側隆起の縦ずれ*変位が認められます。</p>
③	むらまつ 村松断層	<p>五泉市新屋付<small>あらや</small>付近に位置し、北東－南西走向に延びる、図内の長さ約1kmの活断層で、北西側隆起の縦ずれ*変位を伴っています。</p>
④	ごせん 五泉断層	<p>五泉市青橋付近<small>あおはし</small>から同市堤屋敷<small>つつみやしき</small>まで、北北東－南南西方向に延びる、図内の長さ約2kmの活断層です。</p>
⑤	新たに確認された 活断層 あきはやま (秋葉山断層)	<p>今回の調査で新たに確認された活断層であり、断層の東側に位置する山の名称から秋葉山断層と命名しました。</p> <p>新津丘陵北西縁部に沿って、新潟市秋葉区<small>たきやほんちよう</small>滝谷本町から同区<small>やしるだ</small>矢代田まで、北東－南西方向に延びる、長さ約6kmの活断層で、一部に南東側隆起の縦ずれ*変位を伴っています。</p>
⑥	新たに確認された 活断層 ごまどうやま (護摩堂山断層)	<p>今回の調査で新たに確認された活断層であり、断層の東側に位置する山の名称から護摩堂山断層と命名しました。</p> <p>田上町中店<small>なかだな</small>から加茂市陣ヶ峰<small>じんがみね</small>まで、北北東－南南西方向に延びる、長さ約6kmの活断層で、一部に東南東側隆起の縦ずれ*変位と活撓曲*を伴っています。</p>

*印は、参考資料2の「7.用語の説明」を参照